

〔様式1〕 平成17年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成17年4月26日		記入者	内線	5134
部 名	管理部	課 名	学校施設課	課長名	角田 栄次
事務事業名	小学校・中学校校舎等維持補修事業				
予算上の事務事業名	小学校・中学校校舎等維持補修費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		14121		
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第4章 人間性豊かな子どもを育成します				
基本施策名	第1節 ゆとりある学校教育の創造				事業開始年度
施策名	第2施策 小・中学校教育の充実				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分 維持・管理・補修 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象 (誰、何)		
児童等が快適な学校生活を送ることができるよう補修工事等を行う。			市立小学校・中学校の児童・生徒及び教職員		
(3) 平成16年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。					
○需用費：校舎等小破修繕、校舎等維持管理修繕等 (耐用年数による計画修繕) ○委託料：改修工事設計委託 ○工事請負費：教室照明、プール、トイレ工事等維持補修工事費 ○原材料費：ガラス、木材等の維持補修用原材料費					
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移					[単位：千円]
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	494,438	423,123	487,484	522,387	676,000
一般財源	493,884	420,759	487,484	522,387	676,000
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	554	2,364	0	0	0
人件費の合計	36,028	29,676	34,447	36,913	47,768
事業コスト合計(a)	530,466	452,799	521,931	559,300	723,768
8 事業効率・・・ (複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	小学校・中学校校舎等維持補修費			対象名称 (単位)	校数
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	493,884	420,759	487,484	522,387	676,000
対象数	81	82	82	82	82
単位あたり経費(円)	6,097,333	5,131,207	5,944,927	6,370,573	8,243,902
前年度比		0.84	1.16	1.07	1.29

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	維持補修工事件数		指標式と指標の説明	維持補修工事費による執行件数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	16.0	15.0	22.0			
目標	16.0	15.0	22.0	23.0	23.0	
目標達成度	1.00	1.00	1.00			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	施設維持補修率		指標式と指標の説明	補修件数/補修を必要とする件数 施設維持の健全性をみる		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	100.0	100.0	100.0			
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
目標達成度	100.0	100.0	100.0			
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]						
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 [効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]						
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
★★★★★	[★★★★★]: 良好な状態を維持する事業					
	[★★★★]: 概ね良好な状況である事業					
	[★★★]: 見直しを行う必要がある事業					
	[★]: 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業					
(2) 担当課の課長による評価 (今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明			
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		これまでの事後的な修繕から、現在策定中の「公共建築物の維持保全計画」に従い、予防保全の観点から計画的な維持補修に努めていきたい。		
	<input type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと			
生徒等が安全で快適な学校生活を送るため、また、施設の耐久性を高めるため不可欠な事業であり、計画的な維持補修、または事後の場合は早急な対応が重要である。			校舎の老朽化が進み、今後築30年を超える校舎が増加していく中で、大規模改造によるものや耐用年数等に応じたサイクルによる計画的な修繕が必要になる。			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価 (今後の方向性)			(2) 二次評価コメント			
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				